

第6章 津波浸水想定区域図の作成

本検討では、8 ケースにて津波解析を行い、“最大浸水深”、“第一波到達時間”、“最大津波高”及び“最大流速”の4つのデータを取得した。各情報については、各ケース毎に図面化すると共に、石川県内全体としての最大の危険を示した全てのケースを重ね合わせた最大危険図を作成する。

県内自治体が、これらを津波ハザードマップ作成に活用できる形で取りまとめ、公表する。公表方法について以下に取りまとめる。

6-1 津波浸水想定区域図の作成

6-1-1 図面の種類

1) 最大浸水深予測図

津波による最大浸水範囲及び最大浸水深を表したもの。
主に津波の危険度や避難の必要性の検討に活用する。

2) 浸水開始時間予測図

ある地点における地震発生時を起点とした第一波到達時間を表したもの。
主に避難時間の検討に活用する。

3) 最大流速予測図

ある地点における津波浸水時の最大流速を表したもの。
主に避難の困難度や建物の被害予測に活用する。

4) 最大津波高予測図

TPを基準とした津波水面の標高を現したもの。
主に陸域の津波による浸水標高や海岸線での津波高の判定などに活用する。
また、河川の遡上範囲の把握に活用する。

6-1-2 各図面の表示方法（凡例）

各図面は、利用者の立場に立って必要な情報が分かるように判例を設定した。

<p>1) 最大浸水深予測図</p> <div data-bbox="368 327 549 790"> <p>凡例 (m)</p> <ul style="list-style-type: none"> 17.0 - 20.0 14.0 - 17.0 11.0 - 14.0 8.0 - 11.0 5.0 - 8.0 2.0 - 5.0 1.0 - 2.0 0.5 - 1.0 0.0 - 0.5 </div> <p>5.0m までは、洪水ハザードマップと同様とし、それ以上は、建物の各階を目安として3m ピッチとした。</p> <p>0.0-0.5 m：大人の膝まで浸かる程度 0.5-1.0 m：大人の腰まで浸かる程度 1.0-2.0m：1階の軒下まで浸水する程度 2.0-5.0m：2階の軒下まで浸水する程度</p>	<p>2) 浸水開始時間予測図</p> <div data-bbox="963 309 1134 790"> <p>凡例 (分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 - 5 5 - 10 10 - 15 15 - 20 20 - 25 25 - 30 30 - 40 40 - 60 60 - 90 90 - 180 </div> <p>津波からの避難は、時間がカギとなることから、短時間で津波が到達する地域にはより詳細な情報が有効である。</p> <p>そのため、すぐに避難しなければならない30分以内は5分ピッチとし、以降、段階に応じてピッチを荒くした。</p>
<p>3) 最大流速予測図</p> <div data-bbox="379 1234 552 1644"> <p>凡例 (m/s)</p> <ul style="list-style-type: none"> 50.0 - 10.0 - 50.0 5.0 - 10.0 4.0 - 5.0 3.0 - 4.0 2.0 - 3.0 1.0 - 2.0 - 1.0 </div>	<p>4) 最大津波高予測図</p> <div data-bbox="1011 1211 1129 1697"> <p>凡例 (m)</p> <ul style="list-style-type: none"> 22 - 25 19 - 22 16 - 19 13 - 16 10 - 13 9 - 10 8 - 9 7 - 8 6 - 7 5 - 6 4 - 5 3 - 4 2 - 3 1 - 2 0 - 1 </div>

6-1-3 公表図面

1) 図面サイズ、縮尺

作成する図面は、地形条件等が把握できるように A1 サイズ、縮尺 1/10,000 を基本とし、浸水想定区域を網羅するように、また、自治体単位に図郭割を設定した。図郭割り図を図 6-1～6-6 に示す。

2) 代表値

県内海岸線において、地区を設定し代表値を取得した。地区設定は、自治体単位で町丁目について、地形条件を考慮しながらまとめて設定した。地区割り図は図 6-7～6-12 に示す。

【取得する代表値】

- ・最大浸水深
- ・第一波到達時間（浸水深が 1cm になる時間）
- ・最大津波高（海岸線における最大の津波高）
- ・最大浸水標高（陸域における最大の津波高）

3) 公表図面

本検討では、4 種類の図面を作成するが、その中で自治体が津波ハザードマップを作成し、避難計画を行う上で必要な主題図として、有用な“最大浸水深予測図”と“浸水開始時間予測図”を公表することとした。

また、それぞれの図面上には、主題図以外の公表しない図面でも、参考値として重要な情報として前述の代表値を掲載した。

6-2 津波浸水想定区域図の構成

主題図については、4種類を差し換えて作成した。主題図のほか、浸水想定区域図として必要な情報として、“図面タイトル”、“解析条件”、“図郭割り図”、“断層位置図”、“凡例”及び“地図の説明文”を掲載した。津波浸水想定区域図の掲載情報を図 6-13 に示す。

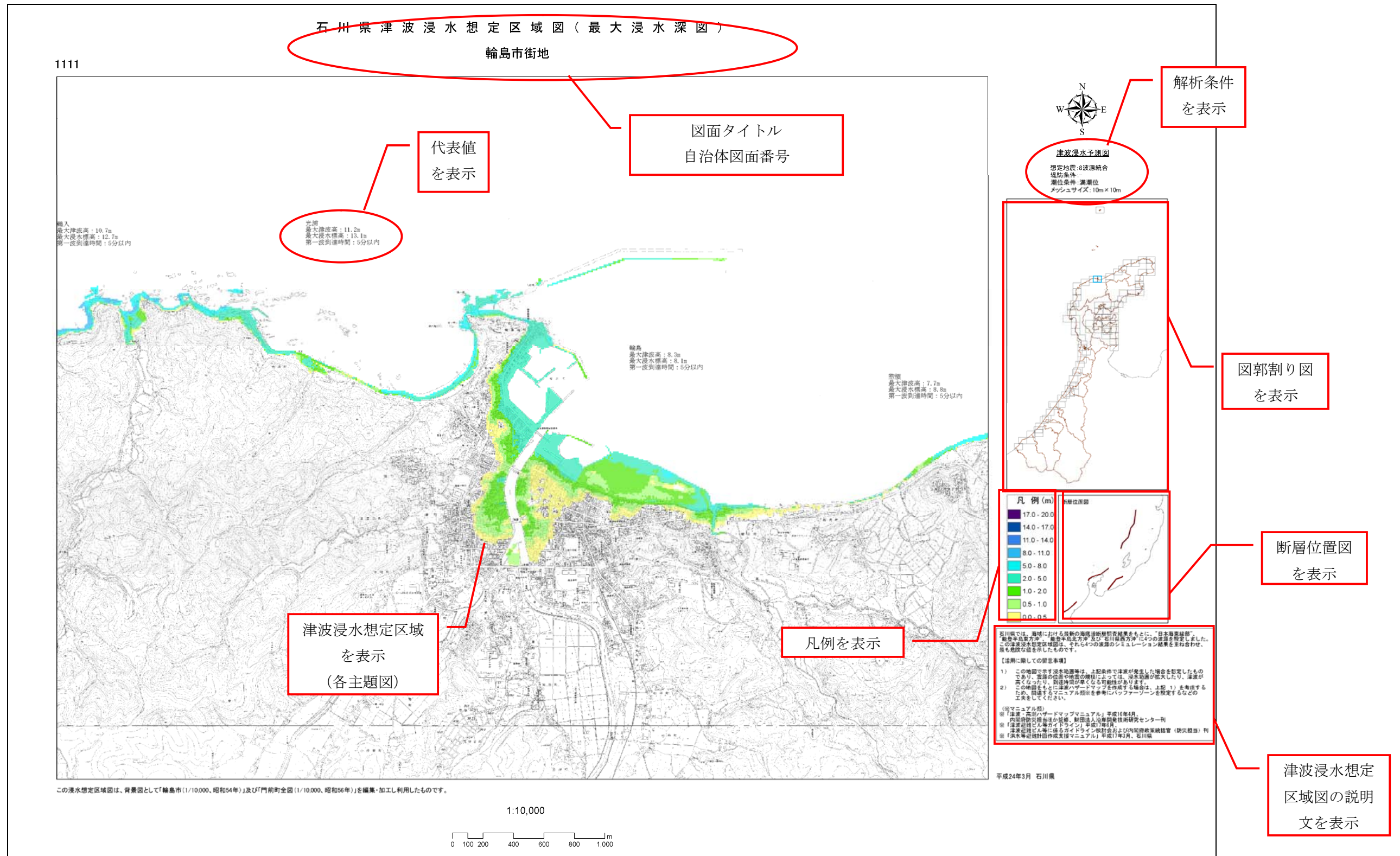


図 6-13 津波浸水想定区域図の掲載情報